

VII. ラピッドレスポンスチーム（RRT）

ラピッドレスポンスチーム（以下、RRT）は、医師、急性・重症患者専門看護師、クリティカルケア認定看護師、救急看護認定看護師、特定看護師、医療安全管理部から構成されている。RRTは起動ツールを導入し、急変しそうな患者さんを早期発見・介入することで患者の状態の増悪を防ぐことを目標としている。医療安全講演会や病院職員への教育体制の整備、定期的なRRT介入症例の検討会、データ収集・統計を通じたフィードバックにより、院内心肺停止の予防を最大の目標として活動している。

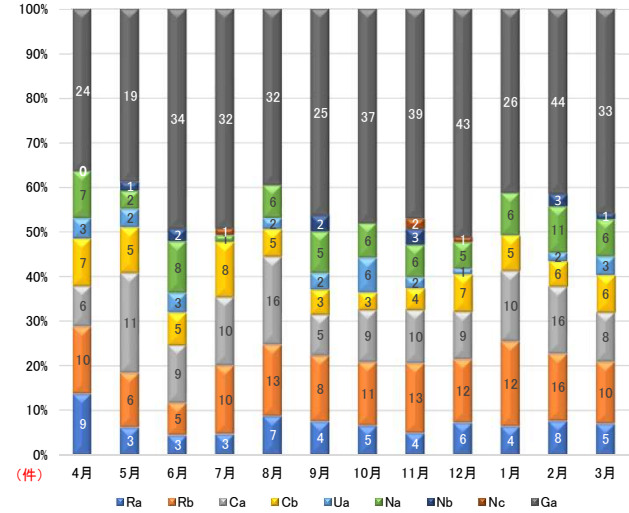
2025年度の取り組みとして、RRTによる定期ラウンドを開始し、患者さんの状態に応じた適切な病棟への安全な受け入れを着実に推進している。また、病棟への早期警告スコア（NEWS）の入力が浸透しつつあり、院内急変件数の減少につながっている。さらに、RRSの研修・普及活動を病棟と連携して実施し、院内全体で急変を未然に防ぐ取り組みを強化している。

VII-1 ラピッドレスポンスシステム起動基準

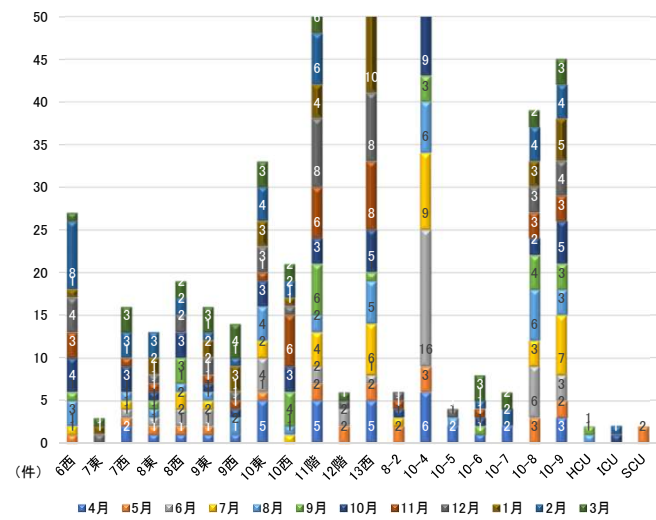
項目	内容	指標	コード
呼吸器系	新たな自発呼吸数の低下	8回/分以下または28回/分以上	Ra
	新たな酸素飽和度の低下	SpO ₂ 90%未満	Rb
循環系	新たな収縮期血圧の変化	90mmHg未満	Ca
	新たな心拍数の変化	40回/分以下または130回/分	Cb
尿路系	新たな尿量の低下	50ml / 4 H以下	Ua
神経系	新たな意識レベルの変化	GCS・JCSの明らかな低下	Na
		麻痺の出現	Nb
		痙攣の出現	Nc
全般事項	患者に何か気がかりなことがある	例：チアノーゼ、ADLの低下、予想範囲外の吐・下血など	Ga

※14歳以下は対象外
※コール対応は平日8：30～17：00
※ケアに困っているなども気軽にご相談ください

VII-2 2025年度介入に至ったコード 月別の構成比率（合計869件）



VII-3 2025年度病棟別介入件数（合計479 件）



VII-4 2025年度診療科別介入件数（合計479件）

